継　続

河川流下能力向上緊急対策事業費

1. 事業概要

「河川流下能力向上緊急対策計画」（令和元年度～３年度）に基づき、堆積土、支障木対策および渓流保全対策工等を着実に実施し、洪水時の土砂堆積による洪水被害の防止と軽減を図る。

2. 事業内容

①流下能力向上対策　【R2年度予定　約80km、約80箇所】

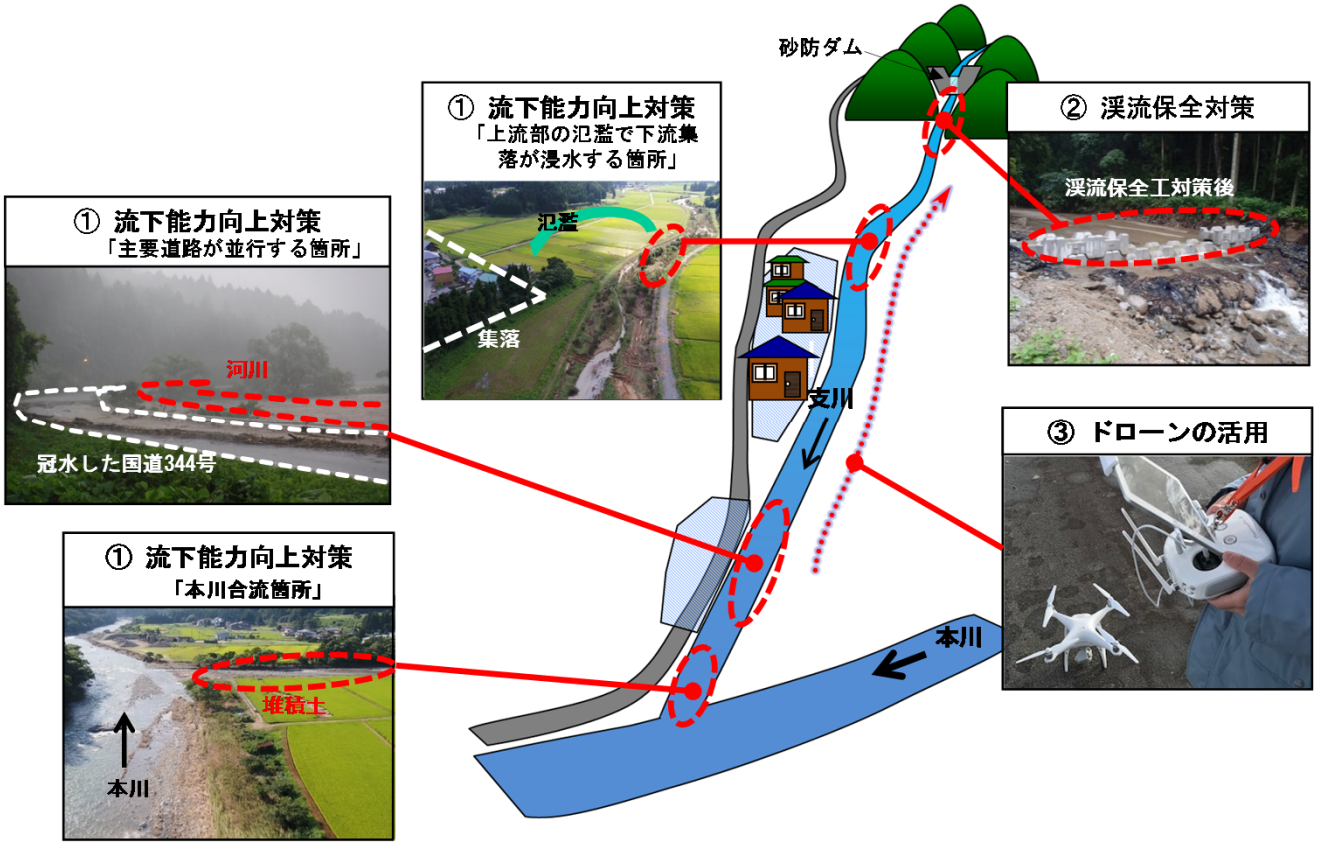
洪水被害の発生状況を踏まえ「上流部の氾濫で下流集落が浸水する箇所」「主要道路が並行する箇所」「本川合流箇所」において堆積土、支障木対策を実施

②渓流保全対策　　【R2年度予定　15箇所】

下流で実施する流下能力向上対策の効果を十分に発現させるため、上流域からの土砂流出を抑制する渓流保全対策を実施

③河川状況把握へのドローンの活用等　【R2年度予定　約80km】

ドローンを活用した河川の状況把握等



県土整備部河川課　河川管理担当　TEL 023-630-2611

新　規

水害・内水被害軽減緊急対策事業費

1. 事業概要

令和元年１０月に発生した台風第１９号による豪雨災害を受け、頻発化・激甚化する浸水被害に対応するため、県が管理する排水樋管(496か所)の操作最適化や操作環境の改善、水防活動支援体制の強化等に緊急的に取り組み、内水被害の軽減を図る。

2. 事業内容

① **浸水要因分析を踏まえた総合的な内水対策の検討**
- ・ドローンによる内水被害発生箇所とその周辺の地盤高等の把握
- ・浸水面積、湛水継続時間のシミュレーションの実施
- ・河川管理施設以外の排水路も含めた総合的な対策の検討

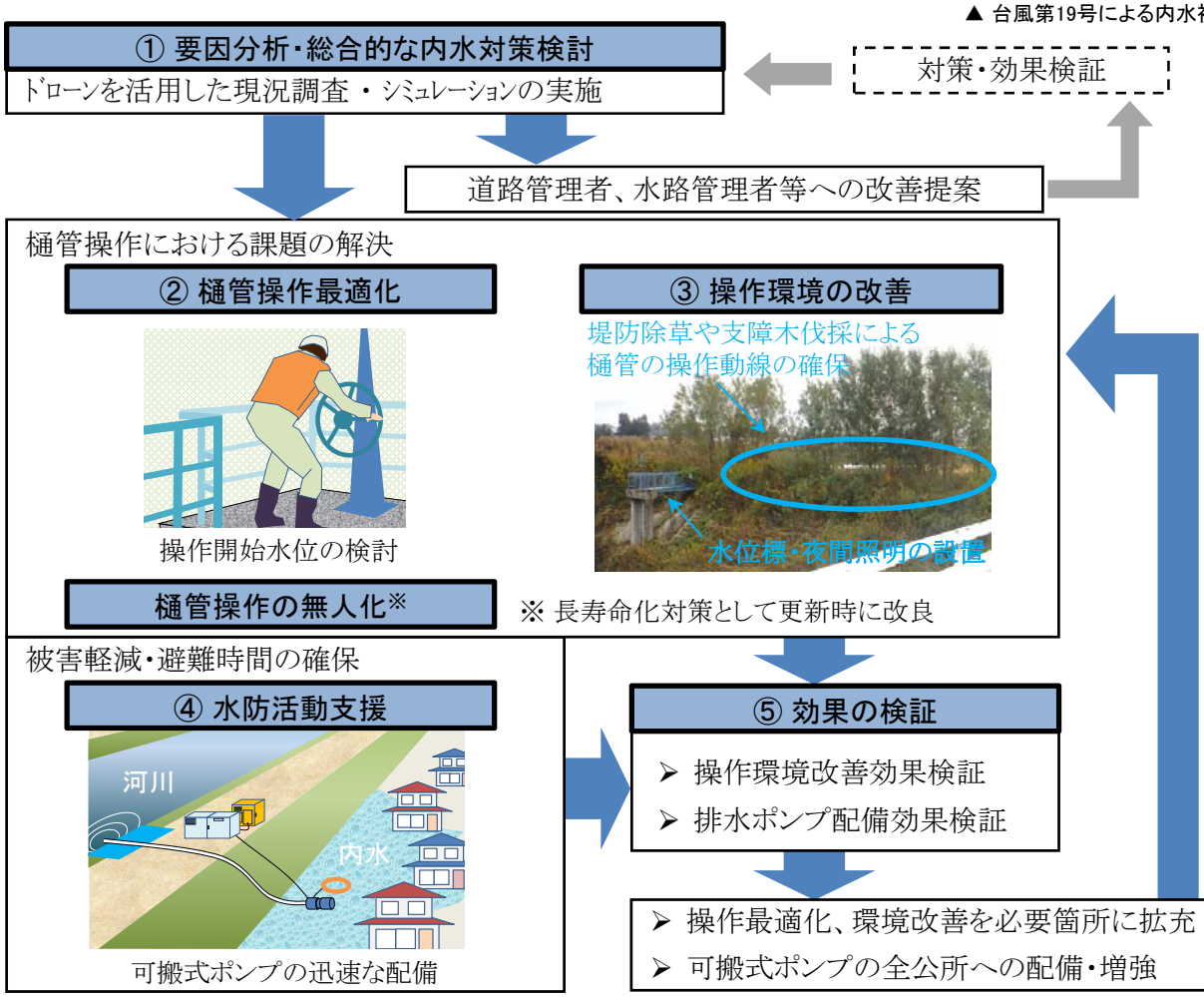
② **排水樋管操作の最適化**
- ・最も被害軽減効果の高い操作開始水位の検討、操作手順書作成

③ **排水樋管の操作環境の改善**
- ・操作員の安全性確保(樋管の操作動線の確保)
- ・操作水位の視認性向上(水位標・夜間照明の設置)

④ **水防活動支援体制の強化**
- ・初動対応のための可搬式排水ポンプの導入配備

⑤ **内水被害軽減緊急対策の効果の検証**
- ・排水樋管操作員からの聴取による操作環境改善効果の検証
- ・排水ポンプ実働訓練による想定した配備効果の検証

▲ 台風第19号による内水被害



県土整備部河川課　河川管理担当　TEL 023-630-2618